

# 市内電車環状線化事業 ～セントラムの整備～

中心市街地活性化と都心地区の回遊性の強化を目的に、市内電車を一部延伸

- ・日本初の**上下分離方式**の導入
- ・魅力ある**都市景観**の構築に向けた道路空間との一体的な整備

## <路線概要>

- 開業日：平成21年12月23日
- 延長：約0.9km（環状線区間約3.4km）
- 電停：延伸区間に3箇所新設
- 車両：新型低床車両を3編成導入



▲市内電車環状線(愛称:セントラム)



利用者数: 休日2,805人/日  
平日1,959人/日  
(開業からH23.3.31までの1日平均乗降客数)

# 市内電車環状線化事業 ～LRTと調和した都市景観の形成～

- 魅力ある都市景観の構築に向けた道路空間との一体的な整備のため、車両、電停、車道、歩道等にトータルデザインを採用

全体コンセプト＝富山都心の魅力を楽しむ・LRTのある新しい風景づくり

○メタリック系の色彩を用い、都市的、モダンで高質な表情のセントラム



○城址とLRTが融合・調和する美しい景観



○軌道・車歩道が一体に見える、トランジットモールを想わせるデザイン



○周辺再開発事業と連携した、高質で都心的デザイン





# LRTが走るまちの風景



コンパクトシティ推進

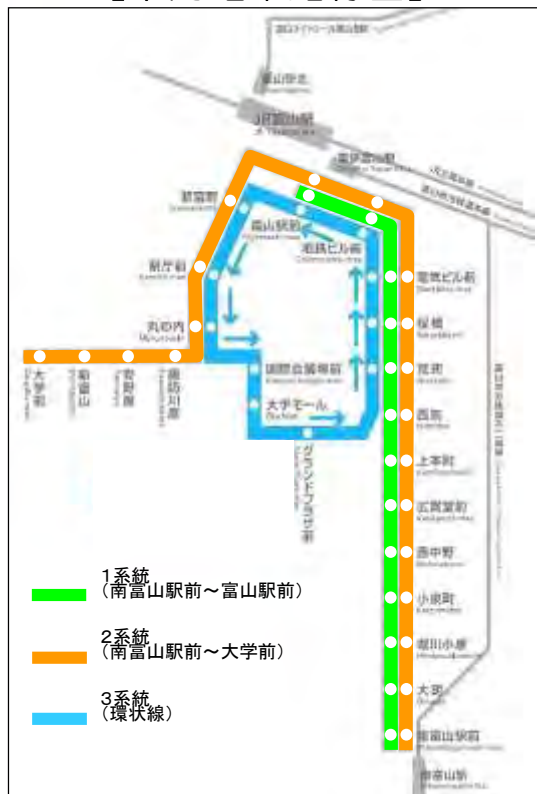


CENTRAM

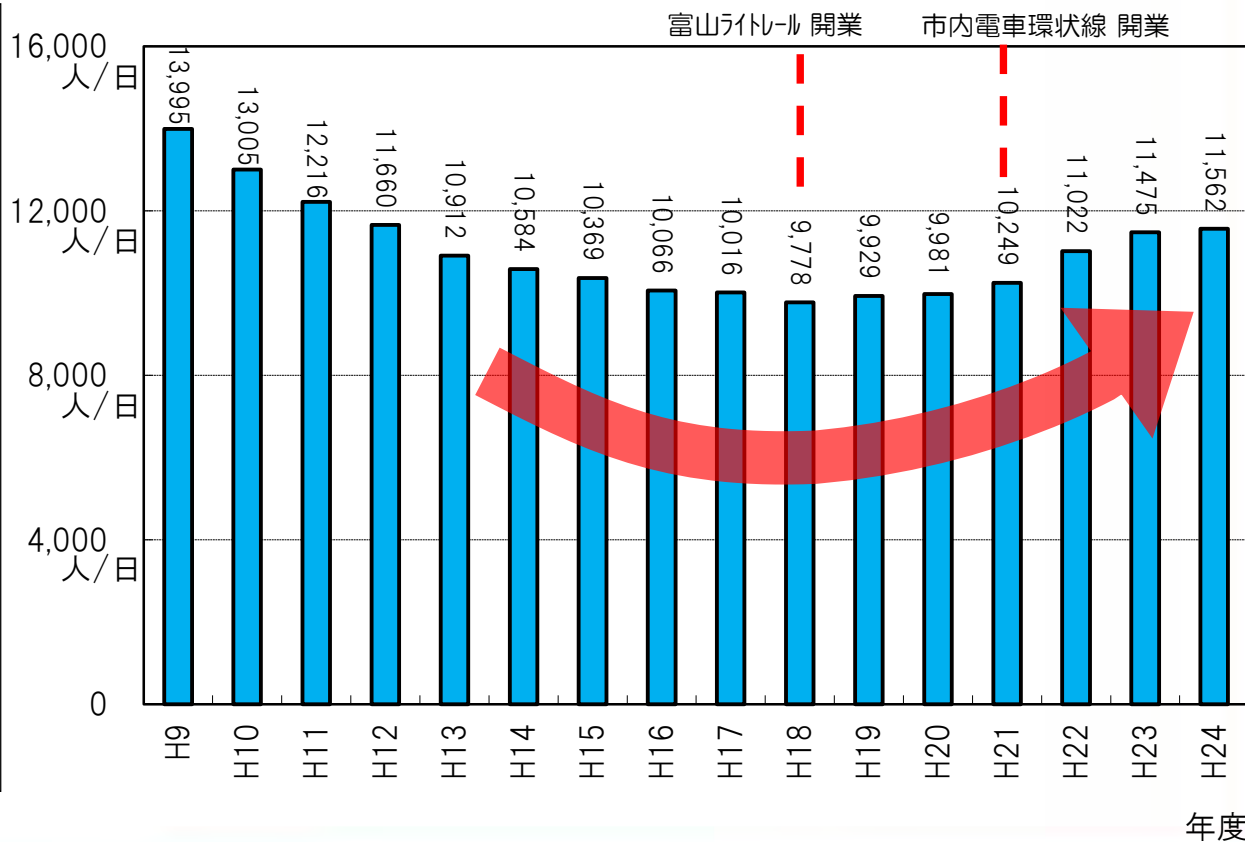
# コンパクトなまちづくりの効果 ～市内電車の利用状況～

市内電車利用者数は平成18年度まで減少傾向が続いていたが、富山ライトレールや市内電車環状線の整備、ICカードシステムや低床車両の導入など路面電車の活性化に向けた取組みにより、**市内電車の利用者数が平成19年度以降は増加に転じている。**

【市内電車路線図】



【1日当り乗車人数の推移】



# LRTの整備等による「正のスパイラル」効果

「正のスパイラル」が生まれ、「まち」や「ひと」にプラスの影響や変化をもたらしている

都市力・ブランド力の向上

選ばれるまち  
→持続性の高い都市

市民意識の変化  
(シビックプライド)  
まちなか居住の増加  
(定住人口の維持・増加)

高齢者のライフスタイルの変化  
若者の中心部への外出  
(外出機会の増加)

中心市街地の活性化  
(賑わい創出・民間投資)  
地域経済の活性化  
(観光振興・新規開業)

公共交通の利便性向上・利用促進  
都市景観の向上(イメージ・魅力向上)

環状線の整備  
都市モビリティの改善



# 交通系ICカードの導入・多機能化

富山市に交通系ICカード（パスカ、えこまいか）が導入されて以降、富山ライトレールを始め、市内電車（環状線含む）、路線バス、鉄道線、自転車（アヴィレ）等への利用域が拡大し、多機能化してきている。

利便性の向上

公共交通の利便性向上・利用促進

H23年度

H22年度

H21年度

富山地方鉄道がICカード（えこまいか）を導入

ライトレールにICカード（パスカ）を導入

鉄道線

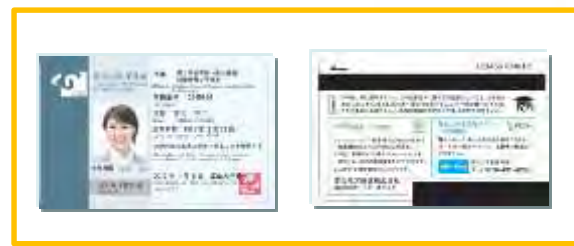
商業連携による市街地活性化



富山市職員身分証明書をICカード化(H24. 3)



富山大学学生証をICカード化(H25. 4)



路線バス



セントラム



市内電車



駐車場



まいどはやバス

フィーダーバス



ポートラム



自転車(アヴィレ)



利用場所の拡大